



新百人一首  
 中流海村公以

2227  
 1  
 ~4



門利  
222.7  
12

湖山堂  
同書



文武天皇

新田川

みゆき

かづ

しを

あき

藤原氏遺愛之記

藤原氏遺愛之記

明治四十年四月五日  
藤原氏



谷風たに ふう たに  
 浪や雲の なみの  
 七の巻 なな  
 ことしあゆ ことし  
 玉の たま



藤原純 ふじわら じゆん  
 1900

式部しきぶ しきぶ  
 山乃 やま  
 雲乃 くも  
 長なが なが  
 人 ひと  
 長なが なが  
 山乃 やま  
 雲乃 くも



式部しきぶ しきぶ  
 山乃 やま  
 雲乃 くも







中納言長谷雄ちゆうなごん ながせ ひと

まはる

みはか

わさ

わさ

あ

あ

忠仁ちゆうじん

物もの

中ちゆう

ま

あ

あ









標 僧都玄賓

と物人も

山田も

うりた乃

所より

一巻終



大納言 旅人

いふ

か

白州

袖

あそ

し



ふりそら乃たふ  
 萩原忠國

我あゝ思ふ

業し物を

かしのま

あふのう

はつち

海



三たのまひあきうのあえ  
 源信朝

かろく

まの月

月秋の

みら吹か

山移りの風

蔵内伝  
 らかろえあし  
 ひん思ふふハ  
 おんふくたのあ  
 せんかーら  
 うらふく



神皇  
 増基法師  
 志がし月  
 たいし  
 身まろく  
 うぬ  
 山ざら  
 いふせ  
 かのあ





平祐季

しねをゆ

袖はたき

みう園子

まが

まが

りせ  
ね  
ね  
ね

ふいのまのまら



源順

先日本を

あがた松の

ゆみどの

ふがふを

ふがふを

ふがふを

あまのり  
かきり  
安貴王

あまのり

あまのり

あまのり

あまのり

あまのり



あまのり  
あまのり  
あまのり

あまのり

あまのり

あまのり

あまのり

あまのり



貝平親日

世々ありあり

まは思ふ

そし世

おを積

月に伴く

ふも

ひがきつと



菖原仲文

わらわらのちりぬん

あつ乃月ん

まかを待

ひふ

まがふし

いふこ

まらふ



山田法師  
 跡山  
 浮  
 其  
 嘉永をけい  
 の



やまののし

福忌轉  
 月乃  
 何と  
 何と  
 何と  
 何と  
 何と







かりの  
 香流為政御  
 さいえん  
 さいえん  
 さいえん

かく  
 ちん  
 うへー  
 四  
 返



三條院女御  
 おお  
 大井川  
 井山風乃  
 さいえん  
 さいえん  
 さいえん  
 さいえん  
 さいえん  
 さいえん



みる

世中

沙弥満誓

善くまの世

ま

あに

あに

あに

あに

あに



菅原長能

やうらうのちのち

あに

あに

あに

あに

あに

あに



権左衛門  
 阿部  
 権左衛門  
 阿部  
 権左衛門  
 阿部

源右大臣



乃  
 乃  
 乃  
 乃  
 乃  
 乃  
 乃  
 乃

源右大臣



ひまのまゝ  
 馬内侍  
 南の君い  
 けふあま乃  
 月を足  
 初身新紙  
 位世を流  
 ら蘇



思心  
 大納言公實  
 あり利  
 いそ  
 心  
 谷如  
 心  
 谷如  
 心



花山院 くそんのかん  
 株乃々如  
 月々乃  
 あくはく  
 雲井の物を  
 かみ  
 かい

人ふす  
 有原元吉  
 河  
 牙  
 うく  
 むわ  
 未  
 牙  
 牙

朝あすのあも  
 丁ちやうのあは  
 好こうのあま  
 君きみにあま  
 ちちのあま  
 ここにあま

五津内大臣  
つとむらのちみん



保良たうらうのあま  
 保良たうらうのあま  
 保良たうらうのあま  
 保良たうらうのあま  
 保良たうらうのあま  
 保良たうらうのあま  
 保良たうらうのあま  
 保良たうらうのあま

保良のあま  
 保良のあま



山寺より  
出る  
太宰大貳守遠

たさいのだいふたりを

えりしき  
約

遠坂乃

きん

いさかどあ

し



本乃

系池乃

なごき

こくかぬお

河由

たむ

祝書

源頼實

みちのりしき



からなきためちのあらん  
橋為仲朝

あやうく

あやうく

あやうく

あやうく

あやうく



志のすのたふ あき  
修理を頭

あやうく

あやうく

あやうく

あやうく

あやうく





白河院

白河院

夜乃お母に

月も世

お母に

お母に

年々お母に

お母に



神祇伯仲

お母に

お母に

お母に

お母に

お母に

お母に



三條入道右大臣  
 藤原経成  
 藤原経成  
 藤原経成  
 藤原経成



えでものいらだりさだん

藤原経成  
 藤原経成  
 藤原経成  
 藤原経成  
 藤原経成



法性寺入道かろしやうしにだうのせんたうのりやうの御景のりやうの御川のりやう

笑のこころし人

と木じま乃

はらりあ

もの笑ぬ月の

かまき

くは



喜慶堂  
書同印

